

テーマ：観光（実践校）

石狩管内 新篠津村立新篠津中学校

本実践のポイント（概要）

- ・ふるさとに対する愛着や誇りを育むため、総合的な学習の時間や特別活動において、ふるさとの自然や歴史を調べたり、他の地域と比較し、結び付けたりすることを通して、ふるさとの特色や自分たちの生活との関わりについて探究的に学習しました。

ふるさと教育・観光教育の実践内容

単元の目標

ふるさとや地域を素材とした探究的な学習を通して、ふるさとの課題を理解するとともに、主体的に課題解決に向けて考えを深め、行動できるようにする。

取組の様子

（1）課題の設定

新篠津村の基幹産業である農業に関わる理解を深め、村外の地域との比較により、新篠津村のことを理解し、将来のふるさとの目指すべき姿について考えました。

また、生徒自身がふるさとを活性化する政策について課題を設定しました。

（2）情報の収集

訪問先の職員とオンラインでの対話やICTを活用した事前学習などを通して、訪問する目的を明確にするとともに、テーマに必要な情報を収集しました。

（3）整理・分析

1人1台端末で、ふるさとや他の地域の歴史や自然、産業等について収集した情報を整理するとともに、グループでプレゼンテーション用の資料を作成することを通して考えを深めました。

（4）まとめ・表現

全校生徒で行う総合発表会において、全学年が他の地域の政策をふるさとに還元する視点で、まとめたことを発表しました。また、第3学年は、観光（町おこし）をテーマにした村議会主催の政策提案会に参加し、今後のふるさとの活性化の施策について発表しました。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る指導の工夫

- ・一人一人が課題解決に向けて学習を進めることができるよう、他の地域について学び、新篠津村の現状と比較し、地域の課題について解決の方向性を見つけるために、地域の強みや改善できる点について話し合う活動を位置付けました。
- ・自分の考えを広げたり深めたりするために、調べる内容を自分で選択し、交流することにより協働的に課題解決を目指すなど、他者の考えを自分の学びに生かせるよう工夫しました。



【政策提案会の様子】



【調べた内容を交流する様子】

実践の振り返り

- ・探究的な学習を通して、ふるさとを見つめる取組を進めたことにより、ふるさとに対する誇りや愛情を育むことができました。
- ・地域学校協働活動に積極的に取り組み、地域と連携したふるさと教育を推進することにより、生徒の興味・関心に応じた学びを深め、自分たちの住んでいる町や北海道への愛着や誇りを育むことが期待できます。